

令和四年度 奈良県租税教育推進連絡協議会長賞

税金について

奈良県立奈良南高等学校 一年 山下 柊三

税金という言葉は耳にしますが、税金がどんなもので何につかわれているかは、全くしりませんでした。今回、税の作文を書くにあたりまず税金について調べました。

私たちが一番身近でよく耳にするのは消費税です。そして両親は毎月、給与明細をみて税金がひかれすぎているとぐちをこぼしています。

税金の種類は何十種類もあります。直接税と間接税にわかれており、身近な消費税は間接税になります。これは、国が徴収する税金です。消費税はトータルで十五兆円で歳入の中では一番大きな収入源です。そして、大人だけでなく、この税金は私たち子どもでも支払っていることになります。となれば、この消費税が何に使われているのか気になります。具体的には医療や年金や福祉に使われているようです。社会保障に使ってくれているなら、私も納得できます。が、+%はきついなと感じています。

税金は他にもいろいろな使い道がありますが、消費税のほかにも身近なものとしては、学校や警察・消防、ゴミの収集に使われているということです。誰もがお世話になる学校。校舎の維持費や水道光熱費もそうですが、一番大きなのは先生方のお給料です。義務教育は無料で高校も授業料がやすくなってきているので、わたしたちがもっとよりよく、快適に教育が受けられるような環境に投資してほしいなと感じました。

警察・消防は困ったときにすぐにかけてくれるし、しかも24時間営業です。税金がなければ、悪い人もつかまらないし、火事を消してくれる人もいません。とても困ります。こわい社会になります。私たちが安心して生活を送れるためにはなくてはならない存在です。ただ、刑務所や少年院などで、年間に2300億円失われているそうです。受刑者一人あたりで年間約200万円かかっているそうです。犯罪が少なくなれば、こんな税金もつかわなくてすみます。

家庭のゴミの収集も税金で行われています。これも私たちが生活するうえで、必ず必要になります。

まだまだ、たくさんの税金があり、様々な使い方があるようですが、覚えられません。全く、税金についての知識はなく、興味もありませんでしたが、今回税金について少し勉強をし、わかったことがあります。税金は正しく使われていれば、私たちが生活するうえで必要不可欠なものです。脱税のこともテレビやニュースでよく耳にしますが、税金について正しい知識を持つことが大切であると思っています。